2026　卒業生の意識調査報告（学習時間）

調査の概要

（1）調査目的：本学では、教育内容や学生支援の改善に向けた基礎資料を得るため、毎年、卒業生を対象にして意識、学習成果並びに学習環境などについてのアンケート調査を実施している。

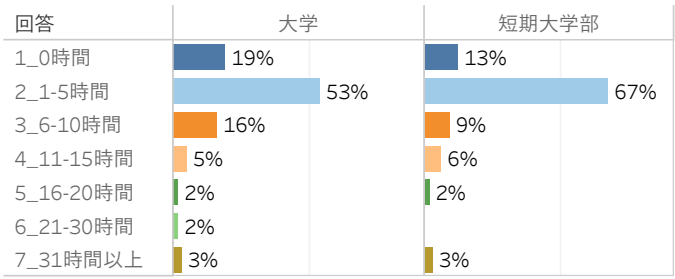
（2）調査対象：令和7年度 卒業生（学部33回卒業生及び短大第60回卒業生）全員

（3）調査期間：令和8年2月13日（金）～3月31日（火）にWebアンケートシステムを利用して回答を取得した。

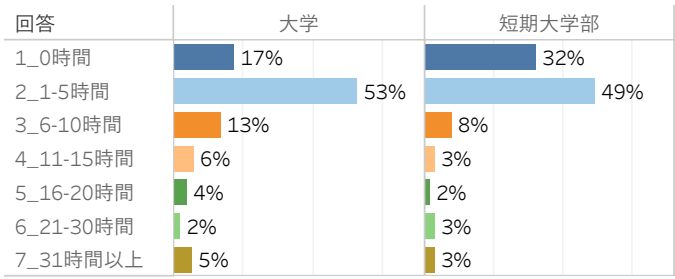
（4）回 答 率 ：令和7年度：大学　52.4%（346/660）、短大　67.0%（65/97）

Q.今年度後期の授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間は、それぞれどのくらいですか。授業関連（予習・復習・課題など授業に関する学習）、自主的学習のすべての時間をさします。

◆授業に関する学習



◆自主的学習



授業に関する学習時間については、大学・短期大学部ともに「1～5時間」が最も多く、大学で53%、短期大学部で67%となっている。一方、「0時間」は大学19%、短期大学部13%であった。6時間以上学習している割合は大学、短期大学部ともに大きな差はみられない。

自主的学習時間についても、「1～5時間」が大学53%、短期大学部49%で最も多い。一方、「0時間」は大学17%に対し、短期大学部では32%となっており、短期大学部の方が高い割合を示している。6時間以上の割合は大学の方が比較的長時間の自主的学習に取り組む傾向がみられる。

全体として、授業に関する学習及び自主的学習のいずれにおいても、「1～5時間」を中心とした学習習慣が定着しており、多くの学生が授業内外で継続的に学習に取り組んでいることが確認できる。